

平成 30 年度

# 年 報



夏季特別企画展「どうする？ 葬式 どうなる？ 葬式」

AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM

安曇野市豊科郷土博物館



# 目 次

## I ようこそ安曇野市豊科郷土博物館へ 博物館の概要..... 1

- 1 開館からの略歴
- 2 当館の目指すところ
- 3 平成 30 年度・活動方針
- 4 施設の概要
- 5 平成 30 年度予算
- 6 入館者数と内訳

## II 企画した展覧会及び関連事業 ..... 4

- 1 企画展・友の会展覧会
- 2 講座・学習会
- 3 出前講座
- 4 昔の暮らし体験教室
- 5 一般に呼びかけた友の会関連活動
- 6 ギャラリートークを求めて来館した団体

## III 写真でたどる年間活動 ..... 10

- 1 関連講演会 観察会関連写真
- 2 夏季企画展「どうする？葬式 どうなる？葬式」展
- 3 秋季企画展「明治 150 年記念」絵地図で見る安曇野市の明治維新
- 4 第 15 回絵手紙展・第 2 回友の会戦時生活展
- 5 第 64 回友の会 書芸展
- 6 春季企画展「安曇野の屋敷林」展
- 7 その他 写真で見る年間活動

## IV 新市立博物館出前展示・小中学校への出前展示 ..... 14

## V 学芸員実習の受け入れ 方向性をもった学芸活動 ..... 15

## VI 調査研究・展覧会企画への取り組み ..... 16

## VII 所蔵している資料をできる限り活用しています 資料管理と活用体制 ..... 16

## VIII 近隣の博物館・資料センターと連携します ..... 16

- 1 旧資料館収蔵資料の有効活用
- 2 提携博物館との具体的協力

## IX 当館に寄せられた皆様のご意見 利活用者からみる外部評価..... 17

- 1 アンケート回答者に見る入館者内訳
- 2 常設展（MATSURI）
- 3 夏季企画展 人の一生Ⅲ「どうする？葬式 どうなる？葬式」展
- 4 春季企画展「安曇野の屋敷林」

## X 博物館のこれから 目標と皆様へのメッセージ..... 19

表紙写真：  
裏表紙写真：

## 1 開館からの略歴

昭和 54 年 4 月	多くの文化遺産の継承を使命とする生涯学習の場として豊科郷土博物館が開館しました。翌年、登録博物館になりました。 以来、収蔵している自然・歴史・民俗・芸術等の資料を収蔵展示するとともに、各種企画展示を開催してきました。友の会を核とした活動も活発に続いています。
平成 17 年 10 月	5 町村の合併により安曇野市が誕生しました。当館は財団法人による指定管理のもと、市唯一の博物館としての活動を継続してきました。
平成 24 年 4 月	安曇野市の直営施設となり、市の主要文化施設として文化の発信と地域に根付いた活動を行い現在に至っています。平成 25 年度、屋根とトイレを改修し常設展示を替えて、平成 26 年 3 月のリニューアルオープンを経て、平成 29 年 3 月 4 年ぶりのリニューアルオープンをいたしました。
平成 27 年 11 月	安曇野市新市立博物館構想策定委員会で検討策定された新市立博物館構想が安曇野市長への提言として示されました。新規建設される市立博物館の基本的内容が明示され、それを受けた市は 15～20 年後の新博物館開設を発表しました。28 年度、新市立博物館準備室も豊科郷土博物館内に設置されました。

## 2 当館の目指すところ

郷土安曇野の自然・歴史・民俗を対象に庶民の生活にかかわる資料の収集・収蔵・管理に努め、それらの資料の調査研究を行い、その研究成果を展示することを心がけています。展示は人々の心と生活の豊かさに寄与するとともに、新たなる文化創造に向けた土壌作りも目指しています。併せて、活動する博物館として生涯学習の場を提供し推進することも大切な目標とします。

## 3 平成 30 年度・活動方針

安曇野市の基幹総合博物館として、新市立博物館構想の方向と連携を保ちながら、以下の 3 点を重点目標に運営してきました。

- ◆ 博物館施設等との連携や交流を活発にして博物館活動の幅を広げ充実させます。
- ◆ 旧資料館や資料センターと連携して学芸活動の体制を強化していきます。  
貞享義民記念館を含め各資料館や文化財資料センターと力を合わせ、企画展示や子ども体験教室などを開催し、収蔵している資料の展示と活用を多くし、魅力的な学習会の実現に努めました。収蔵資料の調査研究や保管環境の検討改善にも取り組みましたがまだまだ不十分な部分が残っています。
- ◆ 市民のみなさまや友の会員との協働により調査研究活動の活性化を進めます。  
引き続き安曇野市商工観光課や地域振興課との緊密な連携のもとに現地調査・企画展が実現し、友の会との共催による明科廃寺や地域研究の連続講座が積み重ねられました。より必要度の高い調査研究活動としての、第 2 次世界大戦の直接体験聞き取りや関連資料の収集・展示を行い、友の会の部活動等も活発に行うことができました。

## 4 平成 30 年度予算

総額 約 24,567 千円

本年度は企画展解説パネル等製作費・研究紀要等刊行物印刷費・施設修繕費・機器リース料・電気代等光熱費・人件費等に使われています。

## 5 入館者数と内訳

入館利用者総数	9,200 人	(平成 29 年度数 10,903 人)	対前年度比率	84.3%
有料入館者数	1,705 人	(平成 29 年度数 02,183 人)	対前年度比率	78.1%
児童生徒入館者数	1,814 人	(平成 29 年度数 01,987 人)	対前年度比率	91.2%

## II 企画した展覧会及び関連事業

### 1 企画展・友の会展覧会

No.	展覧会名	開催期間 日数	場所	入館者数
1	野鳥×植物 命のいとなみ (松田貴子)	4月 1日(土)～4月 8日(日) 7日間	企画展示室	179
2	第34回白鳥展(公募写真展)	4月14日(土)～5月27日(日) 39日間	企画展示室	1,200
3	第34回山草・サクラソウ展(友の会)	5月 3日(水)～5月 6日(土) 34日間	学習室	156
4	第13回ボタニカルアート展・第32回写真展(友の会)	6月 1日(金)～6月17日(日) 14日間	企画展示室	319
5	夏季企画展「どうする?葬式 どうなる?葬式」(宮本尚子・倉石あつ子)	6月30日(土)～8月26日(日) 50日間	企画展示室	753
6	秋季企画展「明治150年記念 絵地図で見る安曇野市の明治維新」(原明芳)	9月 8日(土)～10月28日(日) 44日間	企画展示室	1,156
7	豊科文化祭(豊科公民館主催)	11月 7日(水)～11月13日(火) 6日間	企画展示室	248
8	第15回絵手紙展・第2回戦時生活展(友の会)	11月16日(金)～12月 9日(日) 21日間	企画展示室	472
9	第64回書芸展(友の会)	1月11日(金)～1月27日(日) 15日間	企画展示室	368
10	春季企画展「安曇野の屋敷林」(松田貴子・倉石あつ子)	2月 9日(土)～3月31日(日) 43日間	企画展示室	829
入館者合計				5,524

### 2 講座・学習会

#### (1) 企画展関連講演会・講座など

No.	講座名	日時	講師	場所	参加者
1	早春の野鳥観察会	4月 7日(土)	丸山 隆、松田 貴子	ビレッジ安曇野	19
2	「私の終末活動」(夏季企画展)	7月22日(日)	福澤昭司(長野県民俗の会会員)	博物館学習室	43

3	「三途の川を渡って満願寺を歩こう」(夏季企画展)	7月28日(土)	原 明芳、逸見 大悟	満願寺周辺	19
4	「どのように死と向き合うのか～死と葬儀の民俗を見つめながら～」(夏季企画展)	8月4日(土)	山田慎也(国立歴史民俗博物館准教授)	豊科交流学習センターきぼう	97
5	夜の博物館～ナイトミュージアムで肝試し～	8月10日(金)	博物館職員全員	博物館	41
6	明治維新の絵地図を見る(大型絵地図)	9月9・16日 10月14・28日 いずれも日曜日	原 明芳	博物館学習室	144
7	「明治にできあがる新しい村」	10月6日(土)	福島正樹(信州大学特任教授)	豊科公民館	35
8	「150年前の地図を持って豊科を歩こう」(秋季企画展)	10月20日(土)	原 明芳	豊科地区	10
9	「万葉人の生活 <small>くらし</small> 」(春季企画展)	2月23日(土)	上野 誠(奈良大学教授)	穂高交流学習センターみらい	140
10	「世界を旅する庭師が語るふるさとの風景」(春季企画展)	3月2日(土)	和久井道夫	豊科公民館	56
11	屋敷林見学「屋敷林の野鳥と樹木観察」	3月16日(土)	丸山 武人、丸山 隆	重柳地区	15
12	屋敷林見学「屋敷林と茅葺屋根」	3月30日(土)	武井 孝夫、松沢 朋典	島新田地区	14

参加人数合計 662

## (2) 主催講座

### ①こたつ講座

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	「穂高空襲を考える～安曇野・松本平の太平洋戦争～」	12月15日(土)	原 明芳	博物館学習室	19
2	「死はどのように確認されたか～長野県のタマヨバイを中心に～」	12月22日(土)	宮本 尚子	博物館学習室	24
3	「明科廃寺の造られた時代～なぜ古代の明科にお寺が造られたのか～」	1月13日(土)	原 明芳	博物館学習室	60
4	「旅はお好きですか?土産に饅頭はいかが!」	1月20日(土)	倉石あつ子	博物館学習室	24
5	「哀敬儀から見た安曇野の葬儀風俗」	1月26日(土)	逸見 大悟	博物館学習室	45

参加者合計 172

### ②その他

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	安曇野市観光協会 拾ヶ堰ツアー	4月7日(土)	逸見 大悟	豊科郷土博物館	43
2	秋の草原観察会in長峰山	9月8日(土)	松田 貴子、宮本 尚子	雨天につき学習室で	10

参加者合計 53

### 3 出前講座

#### (1) 学校対象出前講座

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	豊科北小	5月2日(水)	原 明芳	豊科北小学校	86
2	ちくに生きもの未来基金による自然観察会	5月16日(水)	松田 貴子	豊科南小3年生	101
3	ちくに生きもの未来基金による自然観察会	6月1日(金)	松田 貴子	豊科北小3年 田淵行雄記念館	87
4	ちくに生きもの未来基金による自然観察会	6月10日(日)	松田 貴子	豊科南中美術部 田淵行雄記念館	26
5	ちくに生きもの未来基金による自然観察会	9月7日(金)	松田 貴子	豊科南中3-4組 田淵行雄記念館	35
6	ちくに生きもの未来基金による自然観察会	10月17日(水)	原 明芳、松田 貴子	豊科南小 豊科郷土博物館	26
7	穂高西小地域たんけん倶楽部	10月23日(火)	松田 貴子	穂高西小学校	10
8	馬と人の結びつきを考える会	10月27日(土)	松田 貴子	松本大学・近隣圃場	70
9	穂高西小地域たんけん倶楽部	11月6日(火)	宮本 尚子	穂高西小学校周辺	9
10	三郷セルフ	11月9日(金)	松田 貴子	三郷中学校	13

参加者数合計 463

#### (2) 出前講座・観察会（一般）

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	安曇誕生の系譜を探る会春季講演会「安曇野の歴史が変わるとき」	4月22日(日)	原 明芳	穂高神社参集殿	56
2	「暮らしの民俗 変わるものと変わらないもの～その理由は何?～」	4月23日(月)	倉石あつ子	長野バスターミナル 会館	106
3	あづみの公園馬耕体験	5月6日(日)	原 明芳、松田 貴子	国営アルプスあづみの 公園	30
4	長野県文化財保護協会「長野県の味の文化財と食文化」	5月16日(水)	倉石あつ子	ToiGO 長野市生涯学 習センター	30
5	穂高公民館「黒斑山トレッキングと自然観察会」	5月29日(火)	松田 貴子	小諸市黒斑山	23
6	烏川観察会	7月7日(土)	松田 貴子	本庁舎会議室	55
7	山岳フェスタ講演会「アルプス山岳観光の歴史」	7月8日(日)	原 明芳	穂高会館	31
8	触れてみよう!昔の暮らしの道具 協働のまちづくり出前講座	7月18日(水)	宮本 尚子	ツクイ安曇野	30
9	梓弓研究会「梓の木ミズメ観察会」	7月25日(水)	松田 貴子	梓川アカデミア館	19
10	「日本が誇る映画監督熊井啓の青春 旧制中学時代」	7月27日(金)	原 明芳	博物館学習室	12
11	森林エリア植物観察会	8月4日(土)	松田 貴子	烏川溪谷緑地環境管 理事務所	26

12	入笠山観察会	8月7日(火)	松田 貴子	入笠山	29
13	はくせい お話し会	8月11日(土)	小椋 緑	梓川アカデミア館	19
14	安曇野アカデミー「昔人が語る水辺の暮らし」	10月11日(木)	倉石あつ子	豊科交流学習センターきぼう	30
15	乳児院観察会	10月24日(水)	松田 貴子	松本乳児院	53
16	安曇野アカデミー「山を楽しむ一戦前の山岳観光」	10月25日(木)	原 明芳	豊科交流学習センターきぼう	37
17	明科いいまちつくろうかい!「古代の安曇野の玄関口は?」	10月30日(火)	原 明芳	明科町公民館	80
18	まちづくり出前講座「触れてみよう!昔の暮らしの道具」	11月16日(金)	宮本 尚子	デイサービス穂高	30
19	穂高資料館ギャラリートーク	12月24日(月)	原 明芳	穂高郷土資料館	10
20	三九郎と繭玉焼き体験 行事解説	2月10日(日)	倉石あつ子	あづみの公園堀金・穂高地区	50
21	安曇野屋敷林フォーラム	2月16日(土)	原 明芳	穂高交流学習センターみらい	90
22	男女共同参画「信濃の国」県歌制定50周年を迎えて	3月9日(土)	原 明芳	豊科公民館	61
23	(自) 大麦の虫かご作り	11月10日(土)	矢口健陽児	鐘の鳴る丘集会所	17

参加者合計 907

### (3) ワークショップ

No.	講座名	開講日	講師	開催場所	参加者
1	第11回安曇野環境フェア	10月6日(土) 10月7日(日)	松田 貴子、小椋 緑 宮澤紀美子	堀金総合体育館	60 93
2	押絵の干支を作ってみよう～亥編～	12月9日(日)	三村 隆彦	博物館学習室	19
3	(自) 火口作りと火打石体験	10月13日(土)	矢口健陽児	鐘の鳴る丘集会所	39
4	(自) 大麦の虫かご作り	11月10日(土)	矢口健陽児	鐘の鳴る丘集会所	17

参加者合計 228

## 4 昔の暮らし体験教室

No.	学校名	開催日	講師	参加者
1	三郷小学校	1月17日(木)	矢口健陽児、勝野辰雄、小穴金三郎、猿田進、澤柳まき子、百瀬新治、平林政子(以上ボランティアで参加) 宮本尚子、宮沢紀美子、小椋緑(以上3名が主体となって運営した) 原明芳、倉石あつ子、松田貴子がサポートした。	161
2	穂高南小学校	1月18日(金)		104
3	堀金小学校	1月24日(木)		86
4	豊科南小学校	1月25日(金)		93
5	明北小学校	1月30日(水)		15
6	豊科北小学校	2月1日(金)		90
7	明南小学校	2月4日(月)		37
8	穂高北小学校	2月5日(火)		104
9	豊科東小学校	2月6日(水)		31
10	穂高西小学校	2月8日(金)		63

参加者合計

784

## 5 一般に呼びかけた友の会関連活動

No.	友の会名・講座名	開催日	講師	開催場所	参加者
1	(戦)戦争体験を聞く集い「戦争遺族の戦中戦後」	4月18日(水)	千国 温	博物館学習室	13
2	安曇野植物調査部	4月21日(土)	松田 貴子	博物館学習室	12
3	山草部	4月23日(月)		市内	11
4	(郷)中世の大足を歩こう	4月28日(土)	原 明芳、逸見 大悟	大足地区	8
5	(戦)戦争体験を聞く集い2「少年時代の思い出 松本50連隊と決部隊」	5月16日(水)	矢野口和弘	博物館学習室	16
6	安曇野植物調査部	5月20日(日)	松田 貴子	牧地区	8
7	安曇野植物調査部	6月16日(土)	松田 貴子	牧地区	7
8	(郷)中世の大足村を歩こう2	6月16日(土)	原 明芳、逸見 大悟	大足地区	6
9	(自)安曇野の盆と盆の調査方法	7月14日(土)	宮本 尚子、倉石あつ子	博物館学習室	8
10	(戦)戦争体験を聞く集い3「父母とともに満州で過ごした開拓生活と引き揚げ」	7月18日(水)	前島 進	博物館学習室	13
11	山草部自然観察会	7月20日(金)	松田 貴子	軽井沢方面	14
12	(自)藍の生葉染め	7月26日(木)	宮本 尚子、宮沢紀美子	博物館学習室	3
13	(自)藍の生葉染め	9月23日(日)	宮本 尚子	博物館学習室	3
14	(郷)塔の原を歩く	10月27日(土)	原 明芳、逸見 大悟	塔の原地区	7
15	(戦)下鳥羽地区の戦時下の記憶から～対馬丸事件の発掘～	11月18日(日)	西澤 洋明	博物館学習室	15
16	(自)綿つみ	12月7日(金)	宮本 尚子、宮沢紀美子	豊科郷土博物館	5
17	(戦)少年が見た穂高空襲	12月8日(土)	中島 博昭	博物館学習室	42

18	(白) 布ぞうり作り	1月12日(土)	宮本 尚子、宮澤紀美子	博物館学習室	8
19	(戦)「穂高米軍空襲を新しい資料で考える」	2月20日(水)	原 明芳	博物館学習室	20
20	(白) 綿花の利用と糸取り見学	3月9日(土)	井浦 和子	博物館学習室	18
21	(戦)本土防衛決部隊(松本50連隊の後継)などの体験を直接聞く会「三田防空監視哨と決死隊・朝鮮兵の戦後」	3月21日(木)	尾日向安幸	博物館学習室	20

参加者合計

57

## 6 ギャラリートークを求めて来館した団体

No.	来館団体名	来館日	講師	人数
1	安曇養護学校あづみ野分教室	5月10日(木)	原 明芳	18
2	豊科南小学校	5月24日(木)	宮本 尚子、松田 貴子	34
3	三郷中学校1学年三郷セルフ	6月15日(金)	原 明芳、逸見 大悟	70
4	三郷中学校1学年三郷セルフ	6月22日(金)	原 明芳、逸見 大悟	68
5	豊科南中学校	6月22日(金)	宮本 尚子	17
6	松本大学	6月23日(日)	倉石あつ子	10
7	三郷中学校1学年三郷セルフ	6月29日(金)		
8	駒ヶ根市赤穂公民館	7月4日(水)	宮本 尚子	28
9	小中学校初任者研修会	8月7日(火)	原 明芳	27
10	松本地域振興局	8月23日(木)	原 明芳、宮本 尚子	23
11	武蔵野市第六中学校	9月5日(水)	原 明芳	79
12	豊科東小学校3年1組	9月25日(火)	原 明芳、逸見 大悟	33
13	松本地域振興局	9月27日(木)	原 明芳、宮本 尚子	22
14	ちくに基金明北小学校3学年	10月10日(水)	原 明芳、宮本 尚子	14
15	松本市白板公民館	10月13日(土)	原 明芳	8
16	山形村	3月15日(金)	原 明芳、宮本 尚子 松田 貴子	8

合計来館者数

451

### Ⅲ 写真でたどる年間活動

#### 1 関連講演会・観察会関連写真



年度をまたいで行われた展示「つながる命のいとなみ」での今年度分4月7日(土)「早春の野鳥観察」



山草・サクラソウ展  
展示作品制作中



第13回ボタニカルアート展  
作品制作中

#### 2 夏季企画展「どうする？葬式 どうなる？葬式」展



展示風景臨終の場面展示



棺桶展示 入って蓋をする体験もしました。



7月22日(日) 講演会:福澤昭司氏(長野県民俗の会会員)「私の終末活動」/信濃史学会・長野県民俗の会共催/場所:博物館学習室



7月28日(土) 現地見学会「三途の川を渡って満願寺を歩こう」/微妙橋を渡る/場所:満願寺周辺



8月4日(土) 記念講演:山田慎也氏(国立歴史民俗博物館准教授)「どのように死と向き合うのか 死と葬儀の民俗を見つめながら」/場所:学習交流センターきぼう



8月10日(金) ナイトミュージアム「ローソクづくり・怖い話・肝試し」/場所:博物館学習室、展示室

### 3 秋季企画展「明治 150 年記念」 絵地図で見る安曇野市の明治維新



9月9・16・日 10月14・28日（いずれも日曜日）特別公開：「巨大な明治維新の地図を見る」／場所：博物館学習室



10月6日（土）記念講演会：福島正樹氏（信州大学特任教授）「明治維新にできあがる新しい村」／場所：豊科公民館



10月20日（土）現地見学：「150年前の地図を持って豊科村を歩こう」／場所：豊科地区

### 4 第15回友の会絵手紙展・第2回友の会戦時生活展



あまり知られていない対馬丸沈没・鳥羽出身の西沢船長関係展示



絵手紙展

### 5 第64回友の会 書芸展



指導者によるギャラリートーク

## 6 春季企画展「安曇野の屋敷林」展



展示風景



2月23日(土)特別講演会：上野誠氏(奈良大学教授)「万葉人の生活(くらし)」／場所：穂高学習交流センターみらい



3月2日(土)自然講座：和久井道夫氏(庭師)「世界を旅する庭師が語るふるさとの風景」／場所：豊科公民館



3月16日(土)屋敷林見学会その1：丸山隆氏(前信州野鳥の会会長)「屋敷林の野鳥と樹木観察」／場所：豊科地区M家



3月30日(土)屋敷林観察会その2：松沢朋典氏(茅葺職人、榎小谷屋根代表取締役)「屋敷林と茅葺屋根の家」場所：穂高地区T家



## 7 その他 写真で見る年間活動



綿と藍の種まき



藍染体験



布ぞうり作り



友の会研修旅行



戦争体験者から話を聞く



タカラさがし部の野外調査



古文書講座



刺繍部の活動



友の会美化活動



ちくに基金を利用した観察会



火口づくり体験



はくせいお話し会



環境フェア



松本乳児院自然観察会



80年前の安曇野で採集されてた消えゆく蛾類の標本発表展示（日本鱗翅学会）



こたつ講座（第1回）



講師を招いて糸つむぎ体験

#### IV 新市立博物館出前展示

博物館では新市立博物館準備室が中心となって、2016年度からテーマをコンパクトにまとめた出前展示を行っています。2018年度は以下のようなテーマで展示を行いました。

開催日	テーマ	参加者		開催場所	
4月1日(土) ～4月15日(土)	コンパクト展示「安曇野の春の訪れ」	10	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	市役所本庁舎1階ロビー中央	展覧会(含展覧会関連)
4月16日(日) ～5月16日(火)	コンパクト展示「安曇野の春の訪れⅡ～桜の世界～」	17	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	市役所本庁舎2階ロビー中央	展覧会(含展覧会関連)
4月1日(土) ～5月7日(日)	コンパクト展示「興味津々あづみのFOODSsono 2—お姫様御膳から庶民まで・江戸時代から現代へ—」	31	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	穂高交流学习センター みらい	展覧会(含展覧会関連)
5月16日(火) ～6月20日(火)	コンパクト展示「安曇野の特産物～今昔～」	20	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	市役所本庁舎2階ロビー中央	展覧会(含展覧会関連)
6月6日(火) ～6月30日(金)	コンパクト展示「明科の近代化と大逆事件」	21	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	三郷公民館	展覧会(含展覧会関連)
7月4日(火) ～7月31日(月)	コンパクト展示「七夕～そのロマンと現実～」	28	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	江戸川区立穂高荘	展覧会(含展覧会関連)
7月5日(水) ～7月20日(木)	コンパクト展示「安曇野の特産物～今昔～」	15	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	穂高会館	展覧会(含展覧会関連)
7月11日(火) ～7月31日(月)	コンパクト展示「盆～先祖を迎える～」	20	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	三郷公民館	展覧会(含展覧会関連)
7月3日(月) ～7月31日(月)	コンパクト展示「拾ヶ堰、安曇野をうるおす」	22	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	市役所本庁舎2階ロビー中央	展覧会(含展覧会関連)
7月12日(水) ～7月25日(火)	コンパクト展示「緑の瓦里帰り展～開けられた修学旅行のタイムカプセル～」★	各9	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	豊科南小学校、堀金小学校、明北小学校、明科中学校、穂高東・西中学校、堀金中学校	展覧会(含展覧会関連)
8月1日(火) ～8月21日(月)	コンパクト展示「緑の瓦里帰り展～開けられた修学旅行のタイムカプセル～」★	14	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	市役所本庁舎2階ロビー中央	展覧会(含展覧会関連)
8月1日(火) ～8月21日(月)	コンパクト展示「盆～先祖を迎える～」	21	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	江戸川区立穂高荘	展覧会(含展覧会関連)
8月1日(火) ～8月21日(月)	コンパクト展示「秋の七草～千年の時を超えて～」	21	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	三郷公民館	展覧会(含展覧会関連)
8月22日(火) ～10月6日(金)	コンパクト展示「秋の七草～千年の時を超えて～」	45	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	江戸川区立穂高荘	展覧会(含展覧会関連)
8月22日(火) ～9月11日(月)	コンパクト展示「月を愛で秋の収穫を祝う」	20	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	三郷公民館	展覧会(含展覧会関連)
9月12日(火) ～10月6日(金)	コンパクト展示「月を愛で秋の収穫を祝う」	22	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	穂高交流学习センター みらい	展覧会(含展覧会関連)
9月20日(水) ～10月4日(水)、 10月17日(火) ～11月30日(木)	コンパクト展示「<私たちの暮らしから環境を考える>究極のリサイクルだった厠の利用」★	59	新市立博物館準備室・豊科郷土博物館	市役所本庁舎2階ロビー東側	展覧会(含展覧会関連)

10月7日(土) ～10月8日(日)	コンパクト展示「<私たちの暮らしから環境を考える>究極のリサイクルだった厠の利用」★	2	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館	堀金総合体育館	展覧会(含展覧会 関連)
9月26日(火) ～10月31日(火)	コンパクト展示「明科の近代化と大逆事件」	22	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館	明科公民館	展覧会(含展覧会 関連)
10月7日(土) ～10月31日(火)	コンパクト展示「月を愛で秋の収穫を祝う」	24	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館	江戸川区立穂高荘	展覧会(含展覧会 関連)
10月31日(火) ～11月6日(月)	コンパクト展示「縁の瓦里帰り展～開けられた修学旅行のタイムカプセル～」★	7	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館	安曇野市教育会	展覧会(含展覧会 関連)
10月31日(火) ～11月6日(月)	コンパクト展示「昆虫のひみつ」	7	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館	安曇野市教育会	展覧会(含展覧会 関連)
11月1日(水) ～12月4日(月)	コンパクト展示「安曇野の特産物～今昔～」	34	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館	江戸川区立穂高荘	展覧会(含展覧会 関連)
11月6日(月) ～12月8日(金)	コンパクト展示「多文化社会を生きる私たち」	33	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館	穂高交流学习センター みらい	展覧会(含展覧会 関連)
12月22日(金) ～1月15日(火)	コンパクト展示「正月様どこまでござった？」	24	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館	江戸川区立穂高荘	展覧会(含展覧会 関連)
3月10日(土) ～3月31日(土)	コンパクト展示「古写真が緋く懐かしの郷土 三郷」★	22	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館	三郷交流学习センター ゆりのき	展覧会(含展覧会 関連)

#### ◆小中学校への出前展示

「虫っておもしろい！昆虫のゆかいな色・形」	9月21日(水)～9月30日(金) 10月4日(火)～10月14日(金) 10月27日(木)～11月11日(金) 11月14日(月)～11月25日(金) 11月28日(月)～12月8日(木)	南豊科小学校 中央廊下東側 穂高北小学校 回廊北側 豊科東小学校 視聴覚室 明北小学校 中央廊下 三郷小学校 1階保健室前廊下
「触って推理！『長野県地学標本』と安曇野」	11月9日(水)～11月22日(火) 12月1日(木)～12月13日(火) 12月14日(水)～1月9日(金)	明科中学校 2階理科室前廊下 三郷中学校 1階理科室前廊下 豊科南中学校 豊科北中学校

## V 学芸員実習の受け入れ

本年度の当館での学芸員実習の希望は1名でした。

博物館業務を具体的に実践することを通しての実技体験を重視した各種研修を実施してきました。また、各自の企画による教育普及講座や、ミニ企画展に取り組むことで、自ら調査研究して展示等に結び付ける創造性に触れる研修を行いました。



実習生による展示実習

## VI 調査研究・展覧会企画への取り組み

### ●館内外活動への取材と広報

館内外の活動を広く市民の方々に周知するために、企画展示が行われたり、講演会が行われたりするたびに、新聞・放送関係をはじめとする広報活動を行ってきました。

ホームページでのお知らせ、市の広報誌等を利用した広報活動も頻繁に行っております。また、2017年度から始めた出前展示を今年度も行い、公民館・学校等の要請を受け、本年度も出前展示を貸し出して多くの方々に見ていただきました。

昨年度末に展示替えをした常設展示も、少しずつ資料を変えて皆様に新鮮な展示としてご覧いただけるよう、収蔵品やパネルを利用して展示替えをしております。

## VII 所蔵している資料をできる限り活用しています

## 資料管理と活用

### ●収蔵資料数と主な内容

平成24年4月1日現在の収蔵品数と主な収蔵品名は以下のとおりです。

■歴史資料	約13,000点	豊科町関係旧村文書・藤森桂谷文庫・小穴亀一文庫・旧吉野小学校教科書・南穂高村消防組資料・豊科町誌関係資料
■民俗資料	約1,700点	農耕・養蚕・漁労関係資料・衣食住関係資料
■美術資料	約300点	小林章・藤森桂谷・井口香山・小川大系
■自然資料	約5,300点	動物剥製・昆虫標本・化石標本
■蔵書その他	約7,000点	

収蔵品総点数 約27,300点

## VIII 近隣の博物館・資料センターと連携します

## 他施設との連携協力体制

### 1 旧資料館収蔵資料等の有効活用

- ①閉館等により展示等で常時活用できていない収蔵資料について、企画展等の展示に向けてできるだけ積極的に活用してきました。見学等の対応を含め、旧来の資料館利用に近い対応を考えていますが、現実には難しい状況にあります。
- ②穂高郷土資料館と連携し、市内の全小学校への出前講座がより充実した内容で実現できるよう準備から補修等まで協力を密にして取り組みました。
- ③穂高郷土資料館の学芸的事業とりわけ展示について、より充実した内容になるよう両館職員で協力しています。ただし、資料館の職員体制からは展示替えや展示説明の更新はなかなか実現できずにいます。

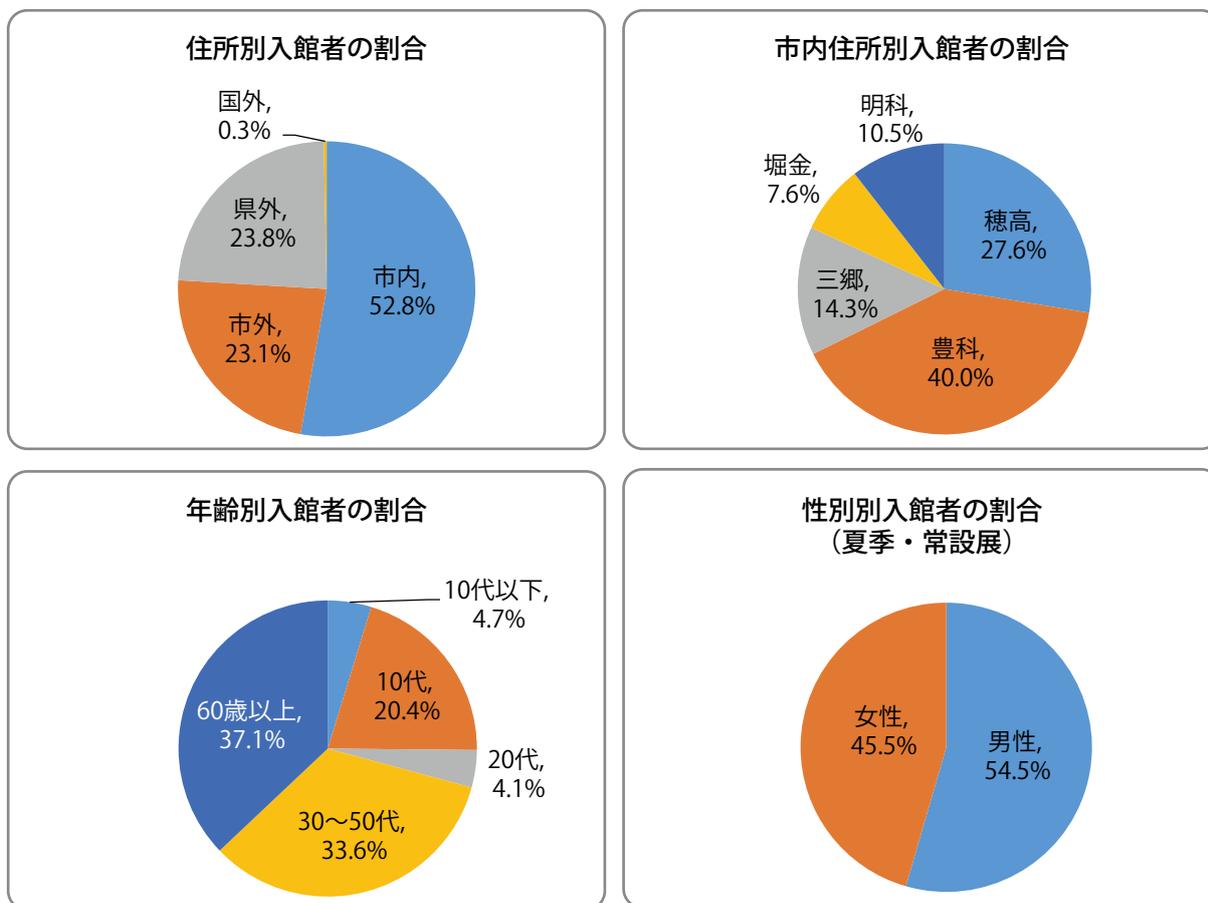
### 2 提携博物館等との具体的協力

平成24年度より旧穂高学校給食センターを改修しての資料収集及び整理ならびに調査研究の場として「安曇野市文化財資料センター」が開設されて5年目を迎えています。常に市内の文化財等諸資料を収蔵する拠点としての資料センターに対応し、資料の整理・保存にあたり、博物館等の教育普及活動を支える活動をしています。

前述した県立歴史館との連携事業をはじめ、松本市立博物館、塩尻市平出考古博物館など県内の博物館との提携・協力による館活動を一層活発にしてきました。

昨年度新たに実現した県立歴史館巡回展に合わせた協賛展示では、資料センター及び國學院大學考古学研究室の調査から得られた成果を展示し、調査結果を中心にした講演会を開催いたしました。旧明科町歴史民俗資料館の収蔵資料等については、他の収蔵施設を含めた統一的対応が課題になります。

## 1 アンケート回答者に見る入館者内訳（夏季・春季・常設展）



## 2 常設展示（MATSURI）

## ◆感想および今後やってほしい展示については以下のとおりです。

- ・子どもの頃の生活や行事を思い出しました。とても大事なことだと思います。ありがとうございました。
- ・夏休みで子どもと来ました、クイズ形式になっていてしっかり見たりできて、とても良い工夫がされていると思いました。
- ・ひとつひとつ丁寧に説明が書かれていて学べた。

## 3 夏季企画展「人の一生Ⅲ どうする？葬式 どうなる？葬式」展

どの展示部分をとっても面白かったし、参考になったというご意見を多数いただきました。特に松本藩から出された哀敬儀はよく読み下してあるというご意見をいただきました。

施設面について、エレベーターを設置してほしいというご要望を、複数の方にいただきました。

## ◆感想については以下のとおりです。

- ・安曇野の歴史文化（過去や今まで）を又少し知ることができて良かった。
- ・少子高齢化時代、人々の様のつながりが薄れる中、昔方式の隣近所の手のもとで葬儀がなされること、大切に感じた。（近親・家族葬も多くなってきている折、特に）
- ・故人を正しく送る地域の温かさを感じた。
- ・祖父の時もこう（土葬）だったなと思い出しました。
- ・手造りの展示に臨場感があってとても良かったです。

- ・この地域の死者への考え方について理解できた。この地域は浄土宗系と思われるがその宗派が定着した理由を知りたかった。
- ・他県出身のため土地独特の風習など興味深く感じました。
- ・子どもの頃葬式に参列することがほとんどなかったので祖父母が亡くなった時に初めて目にする決まりごと等に非常にとまどった。この展示はとても勉強になった。
- ・これからの時代、葬式とはどのようなようになるか考えた。都市では家族葬がかなり多くなり変化は大きい。連絡もなく会葬もなしといういつの間にか消えていく人について。
- ・今は葬儀を葬儀場で行うが、自分が小さい頃は自宅で葬儀をしている家もあったのでなつかしく思いました。
- ・断片でなく全て揃っていて良かった。香奠袋の焰硝屋の表書きが良かった。
- ・それぞれの儀礼、行為に込められた意味が非常に興味深かった。形式的になっているだけに。
- ・もう少し詳しい展示図録が欲しかったです。
- ・昔の人の生きるためだけの力と工夫。現代人の物欲のかたまりのような生き方に猛反対のひとつときでした。
- ・非常に挑戦的な企画で博物館がおやりになるべき展示を示していただいたと思います。人が生きること、死ぬことは誰も切り離すことができません。人生に関わる習俗、習慣、なぜそれが行われているかを今後も教えていただくような展示を期待します。来場者数にかかわらず。
- ・誕生—婚礼—葬式と見学させていただきました。何年後かに3年企画でこのテーマで再展示していただけたらと思います。
- ・興味をそそられる優れた展示でした。葬儀のあり方も時代とともに変わっていきませんが日本のこの地域の伝統的な葬儀について学ぶことができる大変良い機会となりました。
- ・今回の企画展は他の博物館では触れられていないものです。しかし葬式は人間の死に対していかに尊厳をもって行われているかを思いきって企画したことに敬意を感じます。

#### 4 春季企画展「安曇野の屋敷林」

よく調べてあって分かりやすく面白かったというご意見を多数いただきました。

##### ◆多数のご感想をいただきました。以下の通りです。

- ・身近にありながら、あまり感心ももたれなかった屋敷林だと思います。維持管理が大変で今後はなくなっていくと思います。大切な資料になるかと思えます。
- ・普段何気なく通っていた道の景色が違って見えそうです。ありがとうございました。
- ・子供と夏の自由研究で安曇野市内の神社に生息するセミを調査しています。木の種類や役割など、とても参考になりました。屋敷林と神社では規模や植生が若干異なるかなと思いましたが、豊かな動植物の「回廊」になっているという考えは、セミの分布も同じに考えられると思いました。
- ・航空中写真がわからなかった。目安になる建物を教えて欲しかった。
- ・茅葺きのやり方から屋敷林の種類を紹介まで普段は知ることがなかなかできない安曇野の暮らしを知ることができました。興味深かったです。
- ・屋敷林と風向きの風速の関係が松本・大町・穂高で大分違う資料はおもしろい。例えば、10 m以上の木が10本以上ある屋敷林がどのくらいの数あるのかといった景観をつくっている屋敷林の指標があるといいと思った。
- ・屋敷林は身近で関心も薄いのではないかと。ただ今庭や屋敷林は手がかかるとなくしてしまう傾向があるのではないか？掘り下げて見れば昔の知恵があり、大切なことがあるのだと思う。それを気付かされた。
- ・近世における安曇野の住まいの様子に始まり、屋根の葺き替え工程や屋敷林がどのようなものなのか、多くの展示物から知ることができ、分かりやすかったと思います。屋敷林の防風林としての役割が認められる理由として、データが挙げられる点が興味深かったし、屋敷林が緑の回廊として、動物の役に立っていることも面白いと感じました。ペリットなんて初めて見ました。
- ・屋敷林が小さい規模の里山的要素を持っていたことに感心しました。風との関係を上手につきあってきた工夫がすごい知恵と思いました。屋敷林のまわりにあったであろう他の屋敷の様子を知りたいものです。
- ・安曇野の屋敷林は、全国的に見ても貴重なものであることが分かりました。今度はぜひ実際に足を運んでみたいと思います。

- ・ただある林ではなく、生活と密接につながっているのがわかった。そこには知恵も多く感じた。家を守る長いサイクルを何代もにわたり受けついでいく事、今回の方々も知る事が出来たのではないか。とても素晴らしい事だと思った。屋根の展示もわかりやすかった。
- ・屋敷林については（恥ずかしながら）全く興味なく過ごして来ましたが、今回のこの展示とご説明、そして新たに気づいた諸所で、これからはまっすぐ道を車で走るのでなく少し遠回りをして見学（？）しようと思いました。貴重な展示品の数々にご準備の時間とご尽力を感じ感謝いたします。
- ・地元においても見過ごされやすい屋敷林を、様々な角度から資料、写真、実物などで紹介しており、屋敷林の成り立ち、文化的な側面まで捉えてあり、よい展示だと思います。
- ・とっても興味深く楽しかった。屋敷林保存の為に安曇野市政に働きかけて下さい。
- ・屋敷林の中に住んでいます、時にじゃま…と思うときもありますが、やっぱり家にいる…という思いがあり、残したいです。
- ・他の屋敷林の地域との比較コーナーがあると視野が広がり、発展的学習につながるかなと思いました。（例に南破市）
- ・屋敷林の所有者の人の声がきこえないのがすこし残念。当事者の良し悪し両面の声も聞きたい気がします。
- ・維持管理上の問題や苦勞など様々ありそうに思います。そのあたりの住人のご苦勞などの声が（年齢、人手、最も苦勞されていることなど）聞きたいと思いました。
- ・イチイの名前もよいが（みねぞ）の方がなつかしい名前である。子供の頃の屋敷木がなつかしくて見にきました。みねぞの名前はこの辺と長野の一部でつかわれていると聞いています。
- ・写真が多く親しみが持てた。空中写真は時代の移り変わりが分かり興味深くみました。何年か先に是非又この様な展示をして欲しい。

## IX 博物館のこれから

## 目標とみなさまへのメッセージ

安曇野市直営の博物館として再スタートして6年が過ぎようとする時、新市立博物館建設に向けた審議会答申を受け15～20年後の建設を前提に動き始めています。ここまでの博物館での事業内容が問い直される状況ですが、来館されるお客さまにとっていかに快適な博物館であり、魅力や親しみを増していく状況が実現するか、館職員全員で新博物館を意識し少しでも前進しようと努めてきた日々でした。特に市民の皆様に親しんでいただき愛される博物館を心掛け、次世代を担う子供たちが博物館に親しみ・将来的に博物館を支えていってくれる存在になることを願っています。

外部から寄せられたお声や数値として記録に残る成果などから、徐々にではありますが確かな手応えを感じ、今後の活動につながる見通しもできつつあります。あちこちの博物館を見学させていただき、参考にさせていただきながら、新市立博物館の在り方についての検討を進めております。

いよいよ新市立博物館の構想から準備室が設置され動き出した2016年度から、市民の博物館としてより親しまれ信頼される博物館を目指してさらに努力しようと改めて強く思っています。

より親しまれ信頼される博物館を目ざし一歩ずつ前進します



安曇野市・松本市周辺の葬式料理

## 安曇野市豊科郷土博物館

〒 399-8205 長野県安曇野市豊科 4289 番地 8

TEL0263-72-5672 FAX0263-72-7772

公式サイト <http://azuminohaku.jp/>

発行 令和元年7月31日